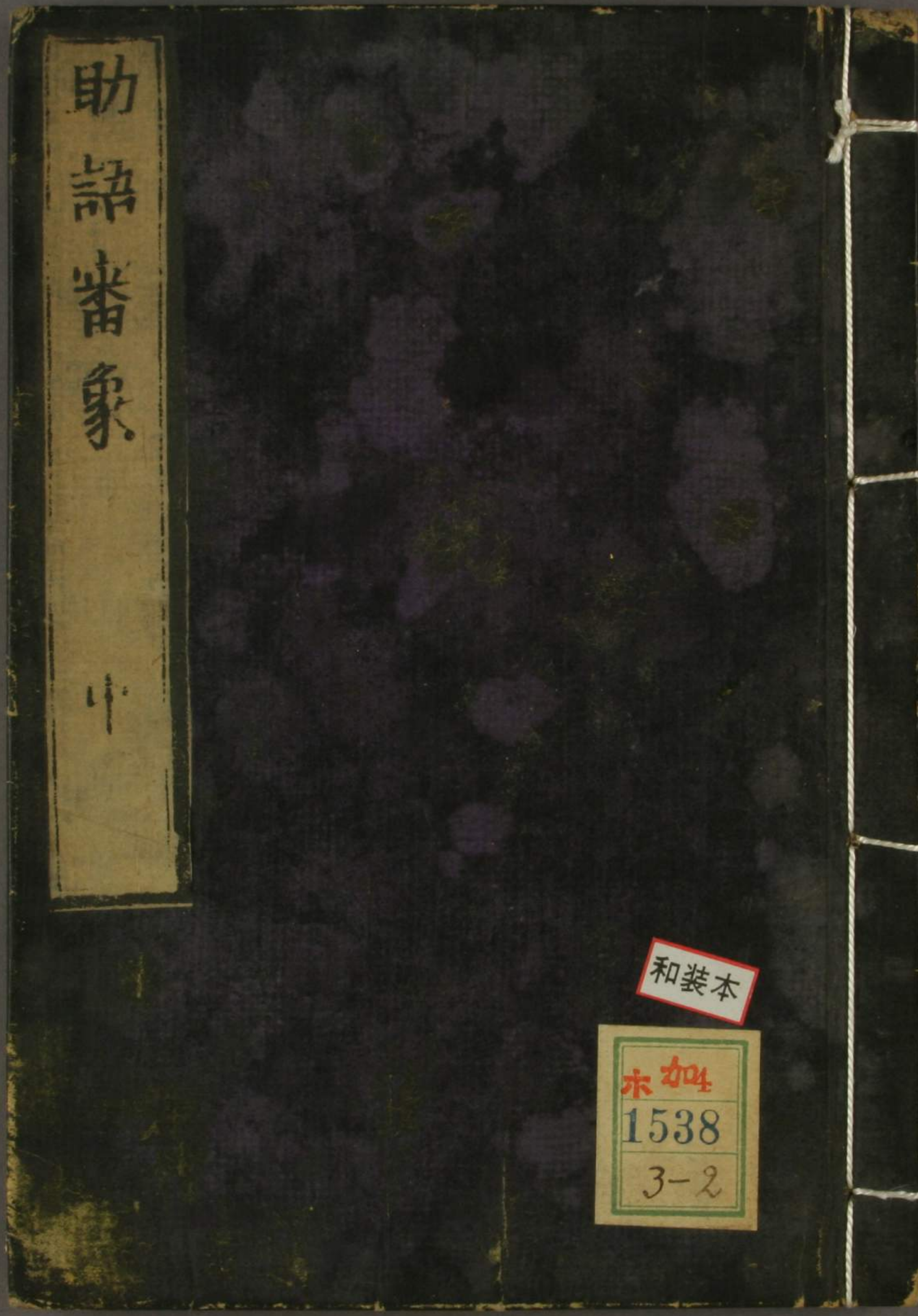




2 3 4 5 6 8 M 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



助語審象

中

木加
1538
3-2

和装本

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
JAPAN
T&JIMA

和加
1538
卷 3-2

助語審象卷之中目次

大正 年 月 日 寄

嘗曾懣經絕了殊附既已業訖契無同死亡罔莫茂靡毋勿

淹附同少末微否曼未不弗寺非匪同回同難幾殆

危汽乃迺載便還同旋輒即則上就登應曾斯遲

動宛轉見仄恍拂五唯同徒但直帝同翅只附止假徑直

第十七 第同第地立乍附忽倏九最尤獨特九甚太同泰奇絕

孔痛酷苦附苛劇二十極至殊異附別驟數亟屢二十原同元

本主舊雅素職固附故二十二十翻還却倒反般覆顧二十旋



寔漸徐微遲附稍差較良八平 遄趣速疾附頓驟暴猝附濫暫附

豫素逆附欲且將三平 適的屬同抵多端鼎正政方三平 偏

一膏誕同誕大奄丕駿荒五三平 必會定計要期斷决附約三平

悉備盡單殫同詳具畢屑訖既八平 皆咸僉舉整該附裁才

材纜同僅劣早 代狎間拾交互遞迭軼同早 俱偕共

齊翕附併與及之將兼附暨泊同越早 相胥兩耦竝竊陰

等遲比間早 通肆同迄訖同了已終竟卒遂肆早 連頻

仍旋比附荐洵同薦恣累切急早 叠附九

助語審象卷之中

橘園三宅先生口授

門人

釋海定

三上惇

筆錄

宮永寅

○嘗曾懣經 既已業訖

嘗コロミ カツテ 通作常 ハカト 訖 嘗者告既已有ハカト 歷練之之ハカト 辞

嘗ハナタルコロムルト訓レテ前カタサフイフコガアルト云フ

ニテ一回ニ回ニ拘ラズ汎ク云フ辞ナリ

嘗有所畜狗乃殺之畜ヒオキレ狗アリテソレヲ殺シタリガ以前有タ有所嘗畜狗

乃殺之以前ヨリ畜イケル狗ガアルソレヲコロシタ有嘗所畜狗乃殺之外ニキタハ

ヒレ狗アリソレヲ今テコロシタ嘗未聞ハカタマダ未嘗聞今ニデキカヌ

張安世傳上少時所嘗游處後漢五行傳嘗所怨恨輒任客殺之

莊子技經肯綮之未嘗

累蓋自其為吳相時嘗有從史嘗盜愛盜侍兒

曾カツテスナワチ者紀其有所經了之辭

曾ハフト一回アリレフニ用ユ曾ハ体ニ屬ス嘗ハ用ニ屬ス

未曾有サアルルカハンモカタイ曾不サレヒマカハ途テリテアル未嘗不セザルルハオイ未嘗不トカタクシ

未昔曾昔カラトヒトキ曾不恤衣食衣食ノコトヒトツモウレハニセヌ

曾衣食之不恤衣食サハモウレハヌシテ外ノコトヲヤ

叔孫通補孝惠帝曾春出游離宮嘗曾並二句頭複用ノ例ナリ

曾カツテ又作習習イツカウ下款ス酷甚不移日曾

曾ハカタヨリ其通りチヤト云意ナリ

雅小曾不畏明曾字韻文テニ用ユ

經カツテ鬼雅素所閱日經

經ハ段々スギ行シコヲ云ナリ

書對禪其語不經見平書大農陳藏錢經耗アラス

了カツテ詳于後志天文天了無質カツテ

殊カツテ絶カツテ二字並後ニ出

既カツテ既者示其所迄之迹之辞

既ハ將之反ニテ其事終リ迹ヲ見テ云辞ナリ既ハ休ニ屬ス

既不治ラ不治不既治乎反語ナリ反語ニ未既治ラ不治

傳十一奉匪沃盥既而揮之六既夫人將使公出孟諸而

殺之既而ハラリタルアトテナリ而字哀二既戰簡子曰吾伏殺

嘔血鼓音不衰今日我上也既戰カキタイ

已スベシ已義見于前ノミト訓スルト

已ハ未レ反ニテ事今モラサナリシナリ月已望ドイハ八十五夜ナリ

已往未來ト既往將來ト既而ソノノアトア外ノ

已而メテノ内ヨリ出テ既乃 已乃ナド此ニ准ズ

傳刺客親既以天年下世妾已嫁夫

用刺客傳伏屍而哭極哀既已不可奈何已字哭極哀ニ係ルナリ

既已句頭ニテハトキニ句腰兼用ノ例ニテ
已字上句ヘ係リ既字下句ヘ係ルト知ヘシ

業 スデニ

其所事不容自己日業

業ハモヤ其事ラスルニテ跡ヘ引カヌ所ヲ云辞ナリ

既ハ往ニ属シ色ハ見今ニ属シ業來ニ属ス

蒙 良業為取履因長跪履之

復基若狀有反相心獨

悔業已拜 已字心獨悔ニ係ル業字拜ニ係ル

業猶 複用ノ例上ニ准ス

訖 スデニ

通作迄 ツリト訣ス

窮其所底止日訖

訖ハ其処ニイタリツメタルヲ云

弄 訖無文號

冠 スデニ 曩已ノ意ナリ

○無亡罔莫 蔑靡毋勿

無 ナシ ナカレ 古作无

對有示其不可形日無

無ハ有ノ反ニツソトコロニ物ノ子キヲ語ル辞ナリ

漢許皇 后傳

日我頭岑岑也藥中得無有毒對日無有

得無云云

云云哉ナドハモチ古ノ反語ナリ今ノ文ハ乎字ナケレ正藥中ノ字上ニ在テ云カクタル勢ヲ反語トナルケリ得無ト句頭ニアルハ多ク反語ナリ能ク前

後ノ語勢ヲ考テ推ヘシ

乃得無恙 恙又乃字ヲ抑ヘ充故ニ反語ニナラズ又ナリ

毫無紕漏 毫無字モヒナリテ

凡ク上ニテ少シク

無毫紕漏 コノ事ノ上ニテ紕漏

無一不見

ヒトツク見

一無不見 オレヲ見

無一不見 一タヒ見

事無不覈又ハテクコラ 無事不覈スルナリ 不無覈ハズラ

覈スル無ハセヌ 無數カズノ限リ 漢無萬數幾万にカズ

子孟勿助長無若宋人然ヲ類禁止之辞トシテ無ハ唯有力無カク吟味

用累尊子 宗子雖七十無無主婦胡瑗無日無夜分不思我郷土

亡又作亡 對存示其絶跡曰亡

亡存ノ反テ有タル物カチクナリ多有テモナキ同然ナヤナド云也用ニ

傳亡其言臣者賤而不可用乎 輒行其誅亡但免官賈萬

罔絶不容復見曰罔

罔分リハ見ハ又上云意ナリ 亡罔相餘タル罔ハ上産ニ彼人トシテ我トシテ無

幽界象ス言フ字左故ニ叙事文ニ罔字ヲ用ユト持論云々用ナリ

罔晝夜頷頷罔水行舟

莫モラナイト誤ス 莫者對適探其無ニ罔然之辞

莫ハ適之反テ有ルカト尋テ見ヨ無イト云意ナリ一段ト入

テ深ク幽界ノ角ヲ言フ字ナリ 漢膜ナド同音ナリ義ヲ推知ヘシ

字義深重ナル故ニ句頭ヲリテハカカラギト讀ニテ反語ナリ

後世ノ詩語俗語ニ莫ヲカレトヨハナカラキト轉シタルナリ

カ...

尚下卷俗語ノ部ニ詳ナリ
古書ニ莫ヲ禁止ニ用ルナリ

子孟不祥莫大焉世不祥ト云ガアルコト 十 莫不祥大焉今

不祥ノカタガコレ 十五 無不祥大焉無ハ事ノ上ニテニ

子韓非莫樂為人君反語 子荀莫經由礼礼由ハ經由ト 莫要得師礼由ハ經由ト

策秦兵莫弱是矣 莫甚焉甚ト云フナカラヤ 莫大コト云フ

無大ト云フ 可莫尚焉反語ナリ 可無尚矣尚フル

今ナリ可莫尚矣トカク 不成語ナリ 可ラニテ無莫ノ別ヲ推知ヘシ

靡ナリ 靡者狀其幾將無之時

靡ハナシト訓シテチラクト無チカカル用ラ云フナリ 音ノ細カニ云カ

声ト云ニ 推知ヘシトカクナキトニ思ヒナサルキニナリ 茂ハ我ヨリキコニスルナリ靡

大靡不有初鮮克有終 鮮其盡心 靡有所隱ス

茂ナリ 茂ハナシト訓シテ見コナシテ無理ニ推テ無キモノニスル

意ナリ 目見ニ茂而靡之トアリ茂ハ推

昭將不得為寡君老其茂以復矣 信 君納重耳茂不濟矣

母ナリ 母者測其必當無之辭

功語部 卷之卅

毋ハ幽界テハ係ル字ナリナレト訓スル時ハ既往ノ無ナリナカレ

ト訓スル時ハ將來ノ無ナリ無字ハ神用ニテ現前

檀 噫母將來ノ

郡中母聲ナキニナリテ

我無強賈母昭十

或勾奪勾奪ハ一段遠キ

韓詩 曰入乎將母周公曰請

入將母入乎

累論 母意母必母固母我

勿ナカレ

通作設

セナト設ス

勿者規而無之之辭

勿ハサスルナト沮ル辭ナリナレト訓スル時モ慎ニテ無クスル

意味ナリ

勿ハスルナト命スル辭ナリ母ハ將來ニナキトモヨク云

孫欲隱勿見

論 過則勿憚改

列女 傳終及後言

及勿立見近キニ

淹

カクタル意ナリ

促

ナキニ近ク意ナリ

○少末微否 曼末不弗

少セウ

計其隣無曰少

少ハ多ノ反ニテ無ニ近キヲ云

漢律 與天相應少有闕謬

末バツ

末者却之以處諸無之辭

末ハ本ノ反ニテ其ノハ止ジキトシテ後ニシテオク意ナリ

公何以不言師敗績トキ未言爾トキ擊トキ未有原トキ
再マルコアルハ後ニ付ヨト云意ナリ

微トキ者假設以處無之辭トクバト云

微トキ實トキハ元トキモナレ假トキニキニシテ見ルナリモレナキニシテ見タラバト云意ナリ

信トキ微トキ子則不及此トキ雖微先大夫有之大夫命側側

敢不義トキ趙トキ微獨趙諸侯有在者乎トキ

否トキシカセズ音ナト上声通作不トキ沮而處之其不容行曰否トキ
憾否否音鄙

否トキ只可之反ニテサフハテラヌト云意ナリ

義則進否則奉身而退トキ日有食之則有變乎且不乎トキ

曼トキ未及其為之曰曼トキ
音萬去声

曼トキハマダ無キト云意ナリ

法曰曼是為也トキ全聖人曼云トキ
法言注ニ音無トスルハ非ナリ

未トキ未トキハ已トキ反ニテ其一ノマダサフナラヌナリトキ
トクバト云

未トキ我怠秦奮倍猶未也トキ

不トキ不トキ上声方又切トキ

不トキ者狀此昂而措之之辭トキ
廣韻分物切トスルハ大誤ナリ

不トキ其トキガヲセヌコナリ其入ニナリテイフ辭ナリ不トキハイツニテモ下

字ヲワザニシテ活シテ見ルベシ 不字語尾アリテイナヤト訓スル時ハ平声ヲ無切ナリ

不不不不別別ハ不否否ハ上声ニテ不否ニ定テ体ニシ天ナリ
不不ハ平声ニテマダワカラ又ニシテ用ニシ云ナリ

不不仁仁 仁ヲ行フヲサセヌナリ四体 不不義義 義ヲ知テ居テ 非非義義 義ヲシテ

居居テモ義義 弗弗義義 義トセヌ 未未義義 義トセヌ 無無義義 義トシテ

毋毋義義 義トセヌ 亡亡義義 義トセヌ 蔑蔑義義 義トセヌ 靡靡義義 義トセヌ

義義 義トセヌ 爲爲之之不不喜喜 此ト云ニ外ノ 不不爲爲之之喜喜 此ト云ニ外ノ 我我不不知知

我我力力彼彼不不知知我我 彼ガ我ヲシラヌ 不不我我知知 知ルヲ他ニ 不知不知日日不不知知ノ類皆皆

論語 知及之仁不能守之 又仁能守之不莊以蒞之 仁ハ知ト並ハ

立立テ多ル故不不字ノ上ニアリ 立テ多クノ仁知ヲ行フニ
不不莊ニテ蒞ニテハト云意ニテ不不字ノ下ニアルナリ

子子孟孟不不目目逃逃 外ヨリ見テ 目目不不瞬瞬 瞬ノ人ニナリ 閑閑之之不不以以法法度度

我我コレヲフセクニ彼 法法度度ヲ以テセズ 法度ヲ立テテセクヲ 不不食食

不不得得食食 食レト欲スレ得ヌ 不不可可食食 食ラハ 不不欲欲食食 食ラハ

世世家家我我生生不不有有命命在在天天乎乎 不アルト訓スルハ非 君君曾曾見見韶韶舞舞

不不此此是是韶韶舞舞 此是不韶舞乎トカクニ似タレ不字

弗弗 弗者狀彼借而毋作之辭

弗弗ハテキヌ所所ヲ外ヨリ見見テイフフ辞辞ナリ不不ト無トフ兼兼スル

程意持ナリ 古ヨリ弗者不之深也ト注スレバ大ニ其別アリ彼ニシテ体ニシ言ハハ弗ナリ我ニシテ用ヲイハハ不ナリ

弗聽 キ、ハルコカモフナカツタナリ 不聽 キ、ハルコヲヤヌナリ

一 穎考叔挾輶以走子都拔棘以逐之及大達弗及

二 使頼人追之不及 弗及ハ外ヨリ見テイフ 聖弗乎弗乎 聖子弗乎弗乎

○ 非匪叵難 幾殆危汙

非 アラズ 對是以舉其失真曰非

非 ハ是ノ反ヲ其路ノ子カヒタナリ 非 ハ下ノ字ヲ用シテ活ヒテ見ルヘシ 非 ハ下ノ字ヲ体ニテ死定ヒテ見ルヘシ

子以道蒞天下其鬼不神非其鬼不神 子ノ中ニテ云タル 其鬼

非不神 其鬼ヲモ 莊駢於明者乱五色淫文章青黃黼

黻之煌煌非乎 非字下ヘサケタルハヒノ事ヲ然リトヒテオキテ其ウラ

累 韓 非天缺弘逆刑星榮惑奎台非數年在東也

匪 アラズ 狀其非有曰匪

匪 ハサライフノ有ルデハナシト云意ナリ 匪 ハ平声ニテ神用ナリ 匪 ハヒ声ニテ休ノ象ナリ

那 狐裘蒙戎匪車不東

叵 カクシ 叵 同 叵者不可之合也

叵 ハ可ノウラナリ 大耳兒最叵信

後漢書 布傳

難 カタシ 平声

シニキト訣ス 泉元不可行日難ト

難ハ易ノ反ニテ事ノデキカヌル処ヲ云

餘難悉名 一々名ヲツケカタル

餘悉難名 引スベテ名ツケニクイ

幾 ホトドト 去声

ハツミト訣 我自狀其沮洳之勢日幾

幾ホトドト訓スル時ハ去声ニテ其ナリカツテ凡急ナク勢ヲ云ナリ

肆斯年將有大谷幾亡國 襄不從晉國幾亡

殆 ホトドト

ホドクニト訣 量彼像其將殆之情日殆 殆遠向音ヲ

殆ハ八九分ニテ三ナリ之ルズキハトヨリ

幾ハ其モニナリトイフナリ死ハ外ヨリ言ナリ幾語急之殆ハ語緩ナリ

繫其殆庶幾乎

照 君不顧親能無甲乎殆其失國

危 ホトドト

圖其近之之機日危

危ハサグアルラント將來ヲ云ナリ

幾危ハ用ニ属ス 殆危ハ体ニ属ス

趙飛 燕傳 危殺之矣

沆 ホトドト

畫其所底至之將窮日沆

沆ハ其処ニイタリツメタル既往ノ迹ヲ云ナリ

易 小狐沆濟濡其尾

殆庶

危曾 之ナ句腰複用

○乃迺載便 還輒即則

乃イハナハナ

ソニテト訣

乃者從容以援往繫今之詰

乃ハイミシト訓ス

今ニシテノ

幽界ヨリ明界ニ出ル猶豫ノ間

ノ助辞ナリ上ノ文段ヲ下ノ語ニツナギ附ル安排ナリ

ソノナレドト訓スルモ同義ニテ我ヲ接キ
彼ニ繫テナシト訓スルユリ例前ニ出

繫見乃謂之象形乃謂之器

見レテアルソレガ象ト名付ルモノガヤト
云義ナリ見レザルモノモアリモレモ見ルニ

スレバト云トキハ
則字ヲ用ナリ

昭至河乃復

傳ニ乃者難辞ト注セバコトニテハ
タルレキ所ヲカヘリタルヲ以カク注セシ

ナリ此処ニ限ル注ニテ乃字全体ノ義ニハアラス總レテ古人ノ注ハ多ク其
バシヨクテ間ニ合フヤウニ注レタルモノナレバ必ク拘泥スヘカラス

乃昔コトゴト

乃祖其ノヨリ祖ニ繫テ

乃翁乃公ナトモ同

乃今乃字下ノ

今乃乃字上ノ語

乃是是乃雖乃况
況乃時乃乃時ト皆例ニ准知シ

魯傳若乃梁者則吾乃梁人也

子孟乃若所憂則有之乃若

ハ乃字上ノ文段ニ属スルナリ
乃若ハ乃字下ノ語ニ属スルナリ

仲長乃無憂患憂患ナ

無乃憂

患無乃ハイツツテ

魏志崇使巫史至乃宮殿之内戸牖之

間無不沃盥

至乃ハ上下ノ語意ニ連テナルナリ
乃至ハ上ノ語終リテ下ノ語ニウツルナリ

承隔其弊乃至於此

コノ乃至ハ又句腹ニ轉接ニ用タルヘ安頭ノ
乃至ト同カラス隔承法ニテ乃其弊ノ意ナリ

月菊有黃華射乃祭獸乃字上文李秋ノ
時令ノヲ承タルナリ

迺スナハチ

迺音乃

乃一同義ニテ用ハ乃ヲ用体ニ通ヲ用

六雅 通疆通理通宜通畝

外戚 廼昔之月嵐巢于樹

載 スナハチ
ハシメテ

載ハ段々向ス進ム勢ノ処ニ用ル辞ナリ

ハシメテ訓シコトハハシメテ
ト云スル字ナリ

載者狀其方且嚮之之辞

小雅 汎汎揚舟載汎載浮

載字韵文ニテ用ユ

便 スナハチ
平声

示其乍已暨之曰便

便平声神用ノ字ニテトリアス先へ飛フ意アリ

便利ノ便ハ
去声ナリ

若不卽降便可執之或謂超可使殺之

八便字起
ハシメテ

複魏志華
用陪傳

已到應便拔針 亟便 遂便

還

スナハチ
音旋

旋同

旋ハ追ヒツケル意ナリ

擅斂首足形還葬

輒 スナハチ
ヤモスレバ

輒者見其每必自然之辞

輒ハタヤムクト訓シテイツニテモサナル時ハ必ッニ付テソル意

ナリ 每ニ必ノ意持ナリ

輒ト乃トハ辞緩ナリ
卽ト便トハ辞急ナリ

傳 張負女孫五嫁而夫輒死人莫敢娶 每輒亦輒

卽 スナハチ
子カ切

卽者見所就一塗不容間之

即ツト訓スル時キ其物ニケルヲ明界ヲ言フ字ナ
助字時ハ記者心ノ幽界ニテ其ヲトリモトナキ
ニレニテラセテ言フ故ニ助字ニナリト心得ヘレ因テ即字ハ叙
事ノ文ニ多クアルナリ 句頭ニテリモレト訓スル時モダキニ
ソレニテ見ル意ナリ下ニ詳ナリ 即ハスコ
レモトリナキ執カテ見セル助辞ナリ

即ハチキニ其物ノ外ノ物ニラス乃ハ其ノ中ヨリ出テ阻ヘウツルナリ
便ハ此ノヨリ彼ノウツルナリ 則ハレノ語ヲ下ノ語ニテ執クナリ

項羽 徐行即危死疾行則及禍 疾行ノカタ客
多則字ヲ用ナリ 八非其父

兄郎其子弟 父兄モアリ弟ニアル意ニテ即字ナリ
則字ハ父兄ニ非シテモル意ニナルナリ

則 スレハ
トヤニ 子徳切 ニレテト誤 則者摸往以畫其來之辞

則ノサレ訓スル意ハコチニテ摸ニレテ見ルナリ カタニセヨト立テア
ハ法字ナリ彼

ヨリカタニセヨトハ子氏我ヨリ
カタニト立テルナリ 則字ナリ 助字ニ轉用スル時モ幽界ノ心ニソレ

ニレテ見ル時ハト云意ナリ故ニ主客ヲ立テ論スル時ハ客ノ方

ニカリ則字ヲ用ユ主ノ方ニ決レテ用ヒズ兩用ヲ立テ論

スル時ハ兩方ニ則字アリ

論語 用之則行舍之則藏 ニツ共主客立テ故
ニ方ニ則字アリ 元欲與大叔臣請

事之若弗與則請除之 事之ヲ主トシテ則字ノ除之ハ止ム
ヲ得ズシテ兵ヲ用ルナリ故客ニシテ

子孟不奪不廢コレ不奪則不廢食トアルベキ処上ノ文段、奪ヲテルコト云テ奪

二閔乃先之至則告守日不可待也カハル當面所ニ則字ヲ用ル先之

ルトキテリシハ却テ思ヒノ外ニカク鄭雖則如雲匪我思存則字上ノ

テ見ル則雖則字ナク文ヲキテ上ノ我則上ノ語中ヨリ出テ則トナリ則我

隔隱山有木工則度之山有木則トカキテハ下ノ語別ニナルモノニ

記學人之學也或失則多或失則寡學也則鄭陽素無根

柢之容雖竭精思欲開忠信輔人主之治則人主必

有按劍相眄之跡コレハ向テ隔テ承ル法ナリ夷與孤之二

三臣相及於絳雖我小國則茂以過之矣相及於絳

韓詩外傳王之所謂忠賢者諸侯之客歟中國之士歟莊王曰

則沉令尹也忠賢者則一膠子實熟則剥則辱意ナリ

○就登遲動宛轉現仄

就スハチ進而致之於彼日就

就スハチハ我ヨリ進ニテ彼ニツクナリ晉惠帝紀就加詔許之

登スハチ陟得其至處日登

登スハチハ地位ニツク、ト云意、漢焦仲卿妻詩登即相從由便可作婚姻

應 入六ハ 詳見于前 一サ下訓スル向意ナリ 魏志 病亦應除

曾 スナハチ 見于前 テ点一御ニテ誤 論曾由與求之間

斯 スナハチ 詳于前 コズニテ誤 趣 スナハチ 詳于後 而 子ハチ 檀弓 スナハチ 訓スレハ

遲 スナハチ 似其及之之漸曰遲

遲ハヤウヤク其地位ニ及フ意ナリ

春申樹怨於楚遲令韓魏歸帝重於齊 注乃也トアレハ

動 ヤ、モスバ 對靜舉其有為之時曰動

動ハ靜ノ反テウキテ何トカスハ其トナル意味ナリ

動輒 ヤモスバ 動便 スナハチ 動郎 スナハチ 動必 スナハチ 動而 スナハチ コハ皆句頭

スナハチト訓スル復用 乃郎 輒乃 郎便 郎輒 便乃

則便 便輒 便則 應便 登郎 用ノ例ナリ

宛 アタカモ 貌其若乍有曰宛

宛ハヒラリト其ヤウスノ見ユルナリ

秦 宛在水中央 コニテハ形宛ノコトナレハ

轉 ワタ 旋行以移曰轉

轉ハヨリテウツリ行クナリ

進傳翟方所察應條轉舉

轉更

見ケル現同

所有歷然可觀曰現

現ハ没之反テ現在アルトコロヲ云ナリ

申屠嘉傳餘見無可者

相如封禪書載籍之傳維見可觀也

見今俗語如今今ノカキ抵今今ナリ在今今ナリ於今今

于今今只今今方今今乃今今而今今即今今

仄ホノカニ側同 情况未確曰仄

仄ハ其事イマダタシカナラヌヲ云

賈誼夷居仄聞屈原兮自湛汨羅夷不側聽不疑莫不驚駭

恍ホノカニ佛ホノカニ風ホノカニ

○唯徒但言 音只徑直

唯タビ惟同 守シ而不及他曰唯

唯ハ一途ニ其コトガリニカシマレ意ナリモト唯諾唯ヨリ轉用

シタルナリ 惟ハオモフト訓シテ一途ニシレガリ

唯不然不然不唯然然

隱他邑唯命昭唯大夫圖之大夫ノ心バカクニテモ

力カ...

徒

イタツク

ムタニト云

有用無器曰徒

徒ハ外ノコナニスルナリ 不満ナ意ナリ 徒ハ本カチト訓シテ

車馬ニ乗ズカチニテ行コナリ

司馬相如傳

家居徒四壁立

子

因載而往 徒獻之

カチト云ラトスニテ獻スナリ

非韓說者不徒知所出而已矣 又知其所以為

但

タビ

外ヲ云テ云ス 執此而除彼曰但

但ハ幾箇モル中テ外ノモノヲノケオモテ云フナリ

徒ハタビニト訓シテ外ナニスルナリ 外ノコナニスルナリ 嘆キテ云キナリ 但ハタビニト訓シテ外ノアルモノヲノケテ云フナリ 今外ノコナニスル用アリ

起坐更適陰陽但服湯二旬而復故

曹

上声 音但

曹與但同

越充 曹奪其畜產

曹

タビニ

翹同

ソレカト云

狀其節程止此者曰曹

翹同音ニテ通シ用ユ

曹ハソレニツキテアルモノニテマダサキナル意ナリ 曹字單用スル

コナニイツニテモ 不曹 何曹 奚曹 豈曹 大用ナリ

譚奚曹其聞之也

但不知其年壽信能延年不曹耳

不曹ニダクト云ス

神仙不翅 スデニ神仙ナル者ニレテオキテバタクソノ 不翅神仙 段デナイ云意ナリゾノ内ニテ云

彼神仙ト云モノニ辟言ハテニテニタ具段ハナイ云意ナリ不翅字ト云ハ下ニアルト意義カクノ如ク差別アリイ年不帝ト書キ処ニ不帝千年

トハカレヌナリ文ヲ奇崛ニセニタヌニ不帝ヲ下ニ置タルヤウニ心得ハ愚見ノ至ナリ 不翅 訓スル類 非翅

非惟 非徒 不但 不徒 不止 非止 不直

非直 何但 何止 豈徒 豈但 豈直 微獨

奚但 非獨 非特 奚假 奚徒 數多キコト例ヲ畧ス

只 バカリト云 義見于前 語尾ノ只下ニ出

唯ハ外ニ相手ヲモタヌ具一バカリラニ途ニ云ナリ 只ハ外ニ對スルナリ 只 テコノ一バカリト云一ナリ 樂只君子ハ憂ニ對シテ只ト云ナリ 但ツキ

テアルモノヲムクテ云ナリ 特ハカクツニスルナリ 抵ハ其ノ一カサナキニナリ 止ハソレギリト云ス

只且 外ヨリ形 只計 カクカカリ 只寧 カクカカリ 寧只 カクカカリ 爾所 カクカカリ

止 見于前 止 語尾ノ止ト同意ナリ 止 仁義先王之遠廬也止可以一宿

假 見于後 假 子莊奚假魯國丘將之天下而與從之

徑 又作逕 就其所捷曰徑

徑 ハチカミチナリ 徑 劉敬傳 徑往而卷蜀漢定三秦

直 ズツト、訣ス 突出無所委曲曰直

直 ハ曲ノ反ニ入リ多シナレズツト其所ニ段ラスエ公意 直 直アタヒト訓シテ其程ヲイフ意ナリ

子直不百步耳是亦走也留侯世家直隨其履地下田角田間

於楚趙非直手足戚也手足戚程唯直直置直爾

○第地立乍 鼠尤獨特

第タビ 又作第ナカフニト 姑就之不論他日第

第ハナニカナニ先ツ其段ニテ見ヨト意ナリ

傳孫武君第重射臣能令君勝

地音第 地與第同

傳西曹地忍之祇見于後

立ハス 夫及有步立

16 併

留侯於是呂澤立夜見呂后

乍ハヒラ 一見没之間曰乍

乍ハヒラ 間ヲイフナリ

鴻燈將滅而仁明又作歛 倏又作

鼠モツ 魁於其類曰鼠

鼠ハベテ物ノ内ニチサキニ立タルヲ云ハテト訓ス 例下ニ出

七十子之徒賜昆為饒益昆為八昆字為昆饒字饒益

尤饒益饒益ナリガ昆為大昆字ニ語ノ主為昆大

昆先スヘテ中昆後スヘテ中ニ後ナル

尤イウモツトモケヤケニ 瑰璋可驚怪曰尤

尤ハ其狀ノ常一拔羣カワリテアルヲ云尤トガアヤミチト訓モ美

人ヲ尤物トハヒ同意ナリ其多引スタル中ニテ体ニ言アリ尤ハ其事

譏天下尤趨謀詐哉雙民為姦京師尤其

獨ヒトリ孤奇無屬從曰獨

獨ハヒト孤獨ノ獨字ニテヒトリトリ殘サレ意ニ付ツ者ナキ意モナリ

獨斯書行於世此書ハ斯書獨行於世世間ノ方ニテ

富ニ人之所欲也何獨弗欲獨字ニ弗獨欲獨字欲ヌ

獨不不獨唯獨獨唯

子孟功不至百姓者獨何與宜弃君之命獨誰受之

特ヒトリ特ハトリワケテ其ツヲ云意ナリ特ハ本三牲内ラ下イロ

ニテ祭ルヲ云特ハ我ヨリ取ハナレテ云獨ハ彼ニテ取テア生リ

力ヒトリ

二 桓特相會往來稱地ヲ 家ヲ其樂非特朝夕之樂也

○甚太奇絶 孔痛酷苦

甚ハ其事ノヒドクユキコシタルヲ云 ヒトノ深重可厭曰甚

甚ハ其事ノヒドクユキコシタルヲ云

甚可惜外 ハ甚ト云ナリ 可甚惜ヲ甚シテナリ 莫甚於此ヨリ

彼ニ對シテ 此 莫甚乎是見事ナリ 莫此爲甚コレハ甚シトスルヲ ナカラシヤク意ナリ

南史茲焉莫甚スルヲナカラヤ 閔衛侯不去其旗是以甚敗

昭二十六 甚口平子曰必于疆也 太甚 已甚 愈甚

太ハ泰ト同 富而將溢曰太

太ハ泰ト同字ニテユタカニアリアル意ナリ 甚ハ用ニレイフ

賦五 著粉則太白粉ヲ施朱則太赤粉ヲ白スキル紅ヲ付ハハ

韓非 人主不泰危乎而人臣不泰安乎

已ハチハダ ハテヲリ轉用シタルナリ 子孟仲尼不爲已甚者

奇ハチハダ メツラキト誤ス 詭異不常曰奇

奇ハ偶ノ反ニテ常ナラヌツラキヲ云 世綿定奇温

絶ハチハダ ナカラヌト誤ス 離類特有曰絶

絶ハ外ニ類ノナキモヲ云ナリ絶世絶域大トノ絶字ヲ知ヘレ

トトハナレテ言ヒ様チキ程ト云フナリ

甚ハヒトフ成リユク道スガヲ云ニ云 太ハ成リフキ
タル処ヲ云 絶ハトント切ヒナタル地位ガカリライフ

學 秦女絶美王可自取 絶美ヲカ 殊美ベツタ

特美ワリ 尤美トイ 最美イツ 全美クゴ 極美マタイ

孔 ハナハダ 中約終博曰孔

孔ハ末廣カリナリ 孔アチ訓レテ中ヲクバリテ
向フテ又ヒ分リタルナヲ云

禹九江孔殷 孔字後世ハ韻文ナラニハ用ヒス

痛 ハナハダ 過溢區堪曰痛

痛ハトウモタマテ又場所ヲ云 痛飲ヒクノム

酷 ハナハダ 忍居刻深曰酷 及至

酷ハ至テ手ヒトクイフナリ 酷何無忌酷似其舅

苦 ハナハダ 非人所能其處曰苦

苦ハガレト云字ニテ心ニ歎キ処ヲ云ナリ

世 帝遂召武子苦責之 苛 ハナハダ 康 ハナハダ

○極至殊異 驟數亟屢

極キヨク キワミテ ヲ上ニイテ 居其所標的之最曰極

極ハ向ヲ頂上ノ地位ヲ立テコトモナキ処ト其位ヲ評シテ云

高祖 豐吾所生長極不忘耳

至シ イタツテ オキツテ 既得其地位曰至

至ハ其地位ニ至リキツテアル意ナリ 至ハ用ナリ 往ニ屬ス 極ハ体ハ今較量シテ云

司馬相 卓王孫怒曰女至不材 至若 若至 及至

至於 至如 コノ類安頭ニ用ル至ニ子モヤハリ轉接ニ用ル至字ト 同義ナレバノ類ハ皆句頭復用ノ例ニテ見バシ

殊コト コト 有別於類曰殊

殊ハワキヘキテアルコトナリ 下ハナレキヲ格別ナルコトニ 殊コト ノ子ヲ

ウシテ分レハナレルヲ以名クルト同シ 殊ハ意ト支ニ屬シ特字ハ下女ニ屬ス

父以足受笑而去良殊大驚

異コト カワツテ 各有所主曰異

異ハ同ノ反ニテカワリテアルコトナリ

非 組已就而效之其組異善

別コト ツカキ 各子テアルコトナリ

驟シバシバ ニカニ 頻進有節曰驟

驟ハ少シクヲリクニスルナリ ハスルト訓スルトキモ 小足ニテコレハヤメルコト

寧楚師驟勝而驕ル

數ハ入声 モトハト 時時煩迫之日數ト

驟ハ用
數ハハ入声 モトハト

吳霖雨數至可灌而沉 數ハ入声 モトハト

亟キヨク スミヤカニ モトハト 多方促之日亟ト

棘字一同音
亟ハイロクニカワリテセハレチギナリ ニテ義通ス

隱愛共叔段欲立之亟請於武公

屢ル モト 屢ハ入声 モトハト 屢ハ入声 モトハト 屢ハ入声 モトハト 屢ハ入声 モトハト

屢ハ入声 モトハト 驟亟ハ我スナリ
屢ハ入声 モトハト 數屢ハ彼ニナリ

論語 回也其庶幾乎屢空

○原本主舊 雅素職固

原ゲン モト 元同 根ニトクス 對流討其出自日原

原ハ入声 モトハト 原ハ入声 モトハト 原ハ入声 モトハト

食シヤク 志シ 姦邪不可禁原起於錢 源ゲン モト 源ハ入声 モトハト 源ハ入声 モトハト 源ハ入声 モトハト 源ハ入声 モトハト

本ホン モト コモトハト 對末舉其根幹日本

本ハ入声 モトハト 本ハ入声 モトハト 本ハ入声 モトハト 本ハ入声 モトハト 本ハ入声 モトハト

ナリ本ハ体ナリ
原ハ用ナリ

衛律者本長水胡人

陳平王陵者故沛人本胡人ト云ハ今
漢テ有セニ

對シテ云ナリ故沛人ハ居
處ノ新故ヲ記スノ事ナリ

復匈奴
用傳降民本故匈奴之人

荆燕
世家今呂氏雅故本推轂高帝就天下

主モトニシテ シテヨロト訣ス 本意所在曰主

主六客ノ對シテ外ノニ對シテイフナリ

谷永
傳主爲趙李報德復怨

舊キヨ
モト シテヨロト訣ス 顧徃紀其跡曰舊

舊ハ新ノ反ニテ過シ跡ヲ語ルナリ 舊ハ其物今ハナキナリ
故ハ其モノ今テアルナリ

命レ台小子舊學于其盤

舊曾 故嘗 本嘗 舊友ハ人ナキ人ヲ云故人ハ今在ル
友ノ云 雅素ハ有無ニ拘ラスイフ

雅カ
ツ子ニ アリキナリト訣ス 遵常未爲流弊汚曰雅

雅ハ俗ノ反ニテ正シクツ子ヲ守リテカワラヌヲ言フ

漢元
后傳舜素謹敕太后雅愛之

素モトヨリ
アラカレメ シテチカラト訣ス 未易本性曰素

絲ノ染サル先ヲ素ト云方今ヲ染色ニシテ既徃ノ染サル先

ヲイフ 本末ノ本ハ既往ノホヲ主トス
素彩ノ素ハ方今ノ彩ヲ主トス

素所蓄積 シタチカハラシマデ
ツミタハルトコト

蕞然而未云獲者士素不厲也 シタチ不厲
ニツテアル 夫不素養

士而欲求賢譬猶不琢玉而求文米也 養士ラシタチ
カラセヌナリ

職 モトメ 任之不離其局曰職

職ハ其ツガ主宰トナル意ナリ

蓋言語漏洩則職女之由

固 モトヨリ
ニコトニ 守舊不移曰固

固ハフルキ様ヲカヘ又ヲ云

孟子所願也 固字其
身係ル 所固願 固字其
事係ル 固雖 固字下
語ヲ主トス 雖固 固字上
語ヲ主トス

故 モト
モトノ實ヲ舉ルナリ 魏文 帝詩 其人不在其物如故

故ハ今テヲ對ニシテ以前ヲイフ
本ハ今テヲ對ニシテ今ノ本ヲイフ
固ハ以前ヨリソレナリニ居ルヲ云對ナシ
舊ハ今ハカワリテアル跡ヲイフ

○翻還却倒 反般覆顧

翻 カヘツテ
ミタ 又作翻 揮揚頻閃曰翻

翻ハヒラノカワルヲ云ナリ 魏志 盡忠為國翻成重愆

還 カヘテ 回步向故曰還

カヘテ

還ハ引カヘシ立モドツテノ意ク

尉繚日暮道遠還テ有挫氣

却カヘツテ

アトモドリテ挫衄テ遂退ト曰却

却ハ跡シサリスル

向フニテウレロムキテ引カヘスハ還之向フニ行キ得ズシテ
アトモドリスルハ却ニ返ハ往ノ反ニ復ハ出タ処ヘカテナリ

晋書若臨時有故却在明年ニ却去ノ意ニテ

倒カヘツテ

ヒヅリカトテ顛而錯之曰倒

倒ハサカシマゴトニルナリ

此汝是我姨兒何倒親游氏

反カヘツテ返同

アトモドリテ對往狀其作睽異曰反

反ハ真ウラニルナリ

還老ハ還字ニ返童ハ返字ニ
此ニテ返ト還トノ別ヲ見ルヘシ

書望之如雲及到三神山反居水中

般カヘツテ

振然就歸曰般

般カハルト訓スル時ハ班ト通シテアガチカヘス意ナリ

賈誼般紛紛其離此郵兮

覆カヘツテ

打テカテト訣 逆而致其背曰覆反ハ体
覆ハ用

覆ハ打カヘテウラマアルト

覆手ハ手ヲ打カヘスナリ翻手ハ手ヲフリ
一ウスナリコレニテ覆翻ノ別ヲ知ルヘシ

小謀臧不從不臧覆用

顧カヘツテ

多モトツテ不誤同意視後曰顧

顧ハアト見カスヲナリ跡ヘカシテ一思案スルト云所ニ用ユ

家世噲老不聽政顧為臣復顧反居臣等上何也復

○旋寔漸徐 稍差較良

旋カハツテ宛轉復其處日旋リキキテ誤

旋ハグルクトワツテモトノ所ヘモドツテクルナリ鞞鞞鞞ト同音

戲ハ逆トシフリラシテモトノ如クニモトルナリ旋字ヤハニテ義通又鞞鞞

始皇旋遂之瑯邪傳即窺以藥旋下病已本紀

寔ヤス浸同ヤス燿然暗襲日寔ヤス

寔水ノヒタフ久之寔與中人亂ヨリ轉用ス

漸ヤウヤク冉冉相濕日漸セ

漸ハ頓ノ反ニテダシクニ進ムナリ浸漸ハヒタスト云字ニテ浸ハ水スコム

貨殖積累贏利漸有所起漸ハヒタスト云字ニテ浸ハ水スコム

徐ヤウヤク優然喜遲日徐ナリ

徐ハ疾ノ反ニテイツク心ナキヲ云定由于徐蘇而從ナリ

微ヤウヤク遲ヤウヤク並見于前目ニミカ子ル程イナリ

力カ吾ウ天テン火カ

稍ヤ、ヤウ、ク 多くと詠 量分コ僅至ニ曰ラ稍ハ体 復ハ用

稍ハ稍食ノ稍字ナリ助字ニ轉用スル時モ多ク其コヲナレ行意ク

用復傳弄府帑雖未充略頗稍給ス

用疊傳變稍稍収其士卒至棗陽

差カヤ、シダイ下詠ス 以次纔進曰差ト

差ハ次第ニ少シキガヒノ見元ヲ云 蓋差居丞相後

較カヤ、入声 比方之有所衍曰較

較ハタラベテ見ルニト云意ナリ

良リヤ、コトニ ガットト詠ス 繼之要終曰良ト

良ハ徳物ノ字ナリ善ヲ行フテ未遂ルヲ良ト云 婦人夫ヲ称シテ 良人ト云来ラ遂

ル義助字ニテハイカニモ其事ヲチツト持テ遂テ居ル意持ナリ

孝武本紀於是病愈遂幸甘泉病良已コトニテ良字義ヲミルヘレヤト 訓スレ氏稍良ナドノ類ニ非ス

具王溥上嘿然良久曰顧誠何如 頗ヤ、見于前

○端趣頓溘 豫欲且將

端ヒトイキテ詠ス 流邁不從頌曰端ト

端ハテマイラスニ飛ヒユク意ナリ 風端臻于衛

趨ニハカニ 促同 七玉切 催之如織曰促

趨ハ追ヒタテル意ナリ 傳若趨降莫王

速スミヤカニ 遲之反 疾徐之反 亟キヨク スミヤカニ 見于前

頓ニワカニ 立委於其地位曰頓

頓ハ漸ノ反ニテチキニキツキタル意ナリ

子列 一氣不頓進 遽ニワカニ アハタニキ 暴ヒラカニ ヒドク急ナル 猝ニワカニ ツツカナル

卒ツツ 同上 驟ニワカニ 見于前 俄ニワカニ モナクト訣ス 俄而蛾而同

溘ニワカニ スミヤカニ 依然乍至曰溘

溘ハ思フニズツトユクナリ 離溘吾遊此春宮

暫ニハカニ シバシノ間ヲ云 十三婦人暫而免諸國

豫ニワカニ カ子ト訣 函養以待發曰豫

豫ハ其ノヲマヘカタニシヨクヲ云 傳將相和則士豫附

素アラカシメ 見于前 逆ニハカニ ヲカシメ 將來ヲカハル意ナリ

欲ホツス 意之望於有作曰欲

欲ハ心ニ思ヒタツナリ

欲邊得ヤクドク トオモフ 遠欲得チヨツトホ シタチル 強欲 欲強 必欲 欲必 トト皆句腰復

用例
テ見ルベシ

角抵欲以試其力
今角抵ヲセルハ其力ヲミテシルガ 欲角抵以

試其力
抑来ニ角抵ヲミテ其力ヲミテ思フテ并ル

角抵以欲試其力
抵ヲ并セテ

ハ其力ヲミテトセシメテツタシ 句腰ニ用ルハイツテモ欲以テ以字上ノ語意屬ス欲字下ノ語意屬ス 以欲句頭ニ用テ上ノ語別ノ句トスル

八親我無成鄙我是欲

且

カサニソウハ 七夜切上声

アト訣ス

且義見于前

コレト訓スル処ニ

又ト且トリ差別ハ凡文中段ニ又トスルハ其事ヲ並テ前段ト向ト位ニシテ言フナリ且トアハ前段ノ事ノ上ヲノヲチヨツト添ヘテ此ル意ナリ故ニ又トアト下ノ語ハ全篇ニ貫カズチヨツト添物ニシタル

且夫 且如
コノ類句頭ノ視用ハミナ且字下二段ノ 且猶

猶且 或且 且或 固且 然且 且必 必且

且欲 且復
ヲ類轉接ニ用タルハミナ句腰後用ノ例ニテ且猶ハ且字下語ニ係リ猶且ハ且字上語ニ係ル餘此ニ効ヘ

宜闘且出
カフハ物ニ 傳 所殺傷匈奴亦萬餘人且引且

戰
引ツタカヒ 儀 自弓下取 一兼諸強順羽且興執

弦而左還
順羽而興トス時ハ順羽畢ツテ興ナリ順羽且興トス故ニ其興ノ間

且マサ下訓スル時モオツト其一ニ見ル意ニ行カリテ猶豫ニ地位ニ

傳 見且斬愛姬大駭
商君 傳 汝可疾去矣且見禽

將
ハサニ 平声 趨於有為曰將

將ハ既反ナリヒキ元ト訓テ別ツテ持テ行々意ハタト訓スルモ同意ナリ

將凡別ハ將ハヤガテモカハル所ヲ緩ナリ且ハ既ニカハリタル所ニサシメテ急ナリ

將行用意スル且行既足ラ欲行行思將欲行行思

張儀傳雖有百秦將無奈齊何世將無同ワカリ兼タルニカク言クナリ

十五襄將可乎哉殆必不可天無以清將恐裂裂スルナリ

恐將裂裂カルコアラシト恐ハナリ覆王沿夏將欲入鄢

且將 必將 將必 殆將 尚將 將或 若將

將亦 行將 將向 亦將 皆句腰複用ノ例ナリ

○適屬抵多 端鼎正方

適テヤ適タク丁歷切通作的テウトト款ス韻中響合曰適的同音ニラ

適ハ莫之反ナリ心ノツボニテウト打合タルヲ云マシタマクナド

訓スモテウト矢ノ的中リタル様ニ其トニ來リ合セタルナリ

傳渡適有天幸窘急常得脫ヲ

屬シヨク時值其會曰屬オリカト款ス

屬ハオリカラ其時節ニ中リタルヲ云

成二下臣不幸屬當戎行

力吾客象 卷之中 三十一

祇

又作祇 又去声音質

竟_{キヲ}違_ヒ其_リ域_ヲ曰_ク祇

祇ハヤハリ其所ヲハナズシテ始終ツレニナリユク意ナリ

祇ハ神祇 祇ハ音岐

ナリ訓適訓但ハ音支ナリ然ルニ孫本李昭ハ分ツテ易ノ祇悔ヲ音岐トシ 詩ノ亦祇ヲ音支トス此イマタ深執音ハサルナリ祇ハ禾始熟也沈約ハ

音竹尸切トシ梅賾祚 八音章移切トス

易

無祇悔

法祇或作多

雅誠不以富亦祇以異

法

言茲苦也祇其

所以為樂也歟

司馬光 鄒陽 傳

祇結怨而不見德

从禾此始上韓 文以下多祇字ヲ用

多

音支

多與祇同

論語

多見其不知量也或作祇

端

音リ

舉其及之之緒曰端

端ハ端緒ノ義ニテ其ハミヲ出テクル処ヲ云ナリ

韓非

豎陽穀之進酒也非以端惡子反也

許皇

奈何妾薄命端遇竟寧前

鼎

音サ

有立於其地位曰鼎

鼎ハキツトツレニナリ立テアル意ナリ

匡衡

無說詩匡鼎來

賈誼 傳天子春秋鼎盛

正

音シ

通作政

モミト誤ス

示其向之非他曰正

力吾嘗原

力吾嘗原

三十四

正ハ邪ノ反ナリ正面ニテ其事ノカシレナキバレヨナリ

論正唯弟子不能學也蘇秦傳秦之行暴正告天下

韓輔依車車亦依輔虞虢之勢正是也

方ハモト方位ノ方ニテ向フテアルト云フナリミサカリニ下訓スル

方ハモト方位ノ方ニテ向フテアルト云フナリミサカリニ下訓スル

モ水ノ出バナ盛リナル処ニ向フ意持ナリ

正ハ静ニ其物ニシキテ言フ体ニ属ス方ハ動ニテコチラヨリ量リテ言フ用ニ属ス

商書方輿沈酗于酒檀公輸若方小ハハハ之ハ之ハ之ハ

用ハ定ス水潦方降疾瘧方起莊方生方死方死方生

方復ハ方乃乃方カウ行マ見テ前

下サニ下訓スル複用一且將方將祇當祇應正當

方且方當行將端合シラハ上テアルトキハ句頭複用句中

○偏一誕大奄不駿荒

偏ヒトニ固守其僻曰偏

偏ハ兩ノ反ニテカタイチツニナリテアルヲ云

六韻偏持律管當耳張儀傳偏守新城

力五部

力五部

一 ヒタスラニ 壹同

純然無所耦曰壹

一八雜ナク其コニナリテアル意ナリ

范叔一寒如此哉

商君 傳 爲法之敝一至此哉

成十 敗者壹大

大 學壹是以脩身爲本

誕 オホイニ

倍其實張揚之曰誕

誕ハ實事ヨリハ一段カサラカケテ言フコナリ

大 雅 誕彌厥月

大 オホイニ

對小語其所包有之殷富曰大

小トイフ對ヲ心ニ持テ小ニアラヌ大ナリト云所ニ用ユ

易象

大有慶也

大字ヒロク国ニモ家ニモ身ニモカケテ慶アルナリ

周 周有大賚

賚ノ大ナルトイフコナリ

傳

其茂曰息壤在此王曰有之因人悉起兵

奄

オホイニ

マルダチト訣

一 益蓋之曰奄

奄ハ二面ニ包容レタルヲ云

商 方命厥后奄有九有

丕

オホイ

ツマナト訣

有倍常之所思量曰丕

不ハ常ニハツレテ大ナルヲ云

多 惟天丕建保乂有殷

駿

オホイニ

超邁出凡曰駿

駿ハスグレテサカシナルヲ云

周頌駿奔走在廟

荒クハ オホキニ

アホキト云

遠大出於常制之外曰荒

荒ハ限リノツカヌヲ云

昭七 有亡荒閱

誕奄丕駿荒五字共 韻文ニ用ユ

必會定計 要期斷決

必キツ カナラズ

キツト云

約其當然曰必

必ハ吾心ニテ將來ヲ占メテイフナリ

必ハ未然ニ稱スル辞ナリ 駸ハ已然ニ稱スル辞ナリ サレハ必字

既往ノ我ヨリ推ハカリテ心ニ占メテ言フアリ 果字モ將來ノ心ニ然リトシテ用ルアリ コレ心ノ幽界ニ入りテカクナルナリ

不必然キツト云 必不然キツト云 可必キツト云 可非キツト云 必非キツト云

不必能キツト云 不能キツト云 必不能キツト云

有所必得必字得 必有所得必字全体

則必必字得 必則必字得 將必必字得 必將必字得

昭十 芊姓有乱必季實立管子 必則朋乎論語 必也使無訟乎論語

會カキス 有期カキス 彼此相遇曰會

會ハ此事トアノフト出合シタル意ナリ

北齊杜 鮮昇車馬客會須用中國人齊書

定^{カテス} カテス サテス シカトト 處之^ラ其不復^カ動曰定^ト

定ハ我ヨリ推シテサカスルナリ 定計ハ往属ス入會要期決ハ來属ス必ハ往來ニ用ユ

審^{カテス} 聞^ラ文公定死乃去

計^{カテス} カテス ハカス ツモリ 勘定^シテ^ルナリ 所商量可徵合曰計

計ハ勘定^シテ^ルナリ

蒙^{カテス} 余以爲其人計魁梧奇偉 料ハカス ワカス ケル ト 欅

要^{カテス} セヒト 欅^シ而致^ス之^ヲ其所理會曰要

要ハセヒサカスル様ニルナリ

後^{カテス} 傳^ス 男兒要當死於邊野

期^{カテス} カテス アテト 欅^ス 的指來之所周至曰期

期ハ其^トヲ^アテド^スル^ニ意ナリ

疊^{カテス} 傳^ス 臣期期不奉詔 周昌口吃シテ言スルニ 期々トカサマルナリ

斷^{カテス} カテス 去声 ワカシ ト 欅^ス 果以判之曰斷

斷ハ其^トヲ^カチ^ラツ^ケル^ヲ云

斷可知矣 ス テ 知 ラ ル ハ 知 ラ レ フ 可斷而知 將來ニ 斷 シ テ

決^{カテス} カテス フ キ ツ テ 欅^ス 勃然趨之不可止曰決

決ハ其方ヘナレテシラフ云

國使會知虎之郎已決不相闘矣

約カキマス見于後

○悉備盡單 詳具畢屑

悉シツ コトクク

アリ多クト歎ス

閱ビ之無遺失曰悉

悉ハヒトツツ、數ヘテ殘サヌラフ云

盡ハ彼ニシテニム 悉ハ我チリニ云

扁鵲ヒョウコク乃悉取其禁方盡與扁鵲

備ヒ ツラサニ コトクク

凡百皆有曰備

備ハソロヘテオクコナリ

備ハ險阻艱難備嘗之矣

盡シツ コトクク

不遺其有曰盡

盡ハ其物ヲキセラテオキテ言フ

盡ハ段ヤニツラキニナリ 悉ハ初ヨリミチ打出シテ云

不能盡對一カコト、ガキキヌ

盡不能對全体コトヘ カテキヌ

孟非盡人之子與後會吏民嘗有事學意方及盡盡得意不

單シツ コトクク 平声 殫同

一ニテ九ト歎ス

竭之至其極曰殫

殫ハツル処ニ至リツタラフ云

盡單斃其死矣

詳シツ コトクク

能理其細密曰詳

詳ハ略之反ニテ其コト細カニラケルナリ

舊神詳延特起之士

具ツラサシ

所陳設無闕曰具

具ハナハナナカラナラズベテ言フナリ

畢ヒツ

スズクイ契

周遍無漏曰畢

畢ハ既往ラ云字ナリ

畢ハアミト云字ニテス卷ノ意持ナリソコヲナレシメテ云フナリ

大史公自序天下遺文古事靡不畢集

屑ヒツ

コトク上訣

細及其瑣曲曰屑

屑ハ瑣碎ニラ多くシク言フナリ

覆圖天之命屑有辭

訖コトク詳于前

秦民訖自若

既コトク詳于前

暨及未既濟也請繫之

卒コトク詳于後

○皆咸僉舉 裁才僅劣

皆カヘ

各種一同曰皆

皆ハミナソロヘテト云フナリ

皆ハミナチタカヨリヨセ合セ云悉ハ我ヨリルモノヲトクナリ

皆不可識皆字全

不可皆識皆字ノ物

皆不識皆字

ハ主ニナルニ

莫不皆然

皆莫不然

可皆得

雖皆 皆雖 使皆 皆使 並皆 舉皆 悉皆

己之句腰復用ノ例ニテ雖皆ハ皆字上ノ語ニカ
皆雖ハ皆字下ノ語ニカ九餘コレニ倣ヘ

本斯 諸男皆尚秦公主女悉嫁秦諸公子

元隱 小人有母皆嘗小人之食矣

咸 トモト誤 彼我相孚合曰咸

咸ハ思ヒ合フテドレモくと云フナリ

皆ハ体ニテ外ヲ指シテ言コトハナリ
咸ハ用テ其モノニテイフ辞ナリ

傳 天下莫不咸便 ミナト云詞ハ物ニツキテ云詞ナリ
トモト云詞用ツキテ云詞ナリ

僉 ミナ

稱所集列之衆曰僉

僉ハ其所ニ集テ人ヲスベテイフ

辭 僉曰垂哉

舉 ミナ

該其所統示之曰舉

舉ハスベテヲ舉テミテイフ辞ナリ

宣 ミナ

楚舉世醉我獨醒

舉言群臣不信諸侯皆有貳志

罄 コトクク

竭 コトクク

底ヲタヒテ誤

該コトクク 該同
言カ子ツム意ナリ

裁 ワツカニ

畫其所至而垠之曰裁

裁ハコレギリノ持ニ云ナリ

裁ハ用
僉ハ体

張儀傳雖大男子裁如嬰兒

才ツカ 財ツカ 繼ツカ 並與裁同

僅ツカ 又作勵ツカ 微少未足道曰僅

僅ハイサカナル程ノ処ヲ云

射蓋勵有存者 僅ツカ 少ツカ 複用 僅僅ツカ 疊用

僅チカレト訓スルハ近ト通ス 王倫傳戰所殺害僅十万人

劣ツカ 品等不及儕輩曰劣

劣ツカ 優ツカ 反ナリマダ常ナキノ所ニ及ハヌヲ云

經北面有如頽落劣得通歩 約略 見于後

○代狎間拾 交互遞送

代ツカ 接武繼之曰代

代ハアトヲツギテカワリニナルナリ

書ツカ 五伯代興更為主命 代ハ体テ物ヲ替ス 更ハ用テ事ヲ替ス

狎ツカ 進退互相依比曰狎

狎ハアチラヘナリヲチラエナリニテヨリツフテユクナリ

昭諸侯逐進狎上齊盟

昭諸侯逐進狎上齊盟

間カク 又作間

雜之有隔於其中曰間

間ハ其アヒタニ外ノコヲ挿メラ云ニト訓スルモ同義ナリ

儀乃間歌魚麗笙由庚歌南有嘉魚笙崇丘

拾カク 一左一右而成曰拾

拾ハ左右相タカヒニソロヘルコナリ

儀拾發以將乘矢

更カク 詳于後

交カク

敵耦相結曰交

交ハタカヒニ結ビ合ララ云

三隱周鄭交質

互ゴ 互タカヒニ

相錯如犬牙曰互

互ハタカヒニイリコシ食ヒチガヒナリテアル云抵牾ノ語同音ナリ

遞テイ 遞タカヒニ

以次承授相繹曰遞

遞ハソソギクヘ承テツクヲ云ト驛遞ノ字ヨリ轉用シタルナリ

律遞興遞廢

迭テイ 迭タカヒニ

履轍相踵曰迭

迭ハソソ跡ハ出又ソソ跡ハ出スルコナリ

封禪書 軼興軼衰

迭ハソソギクツクナリ迭ハソソ間キルコトモアルナリ

錯サ 錯タカヒニ イレチカヒト誤ス

カク

カク

○俱借共併 與及之暨

俱 トモニ イツニト訣ス 誘而同之曰俱

俱ハ一レヨニナルヲ云 借ハ打ソロフテアルヲ云

八定擊之與一人俱斃

借 トモニ タツラ 比肩同行曰借

俱借ノ別ハタトハハ花ヲ觀ニ行ニ同レクソラフテユクハ借ナリ或ハサキヘナリ或ハアトヘナリ從者トナリ色ノ品カワリテモ一レヨニ行クハ俱ナリ

衛及爾借老 借與衛借命而不與借復非信也

共 トモニ 相援以作之曰共

共ハヒトツコヲヨリ合テトモニスルニ用ユ 俱借ハ体ナリ 共與ハ用ナリ

傳 告湯與謁居謀共變告李文

齊 トモニ 相ソロフ意ナリ 翕 トモニ 兩方カラヨリ合フ

併 トモニ 又作拜併 翕異歸同曰併

併ハヒトツニヨセテオクナリ アワセテ並ハオクハ併ナリ ヒトツニ子ニセルハ合ナリ

賈誼治 安策 高帝與諸將併起 封禪 皆拜在東方

與 トモニ タメニ レク ヨリ 上声 タメニ ト訣ス 以彼比附我曰與 トモニ ト訣ス

與ハソレニタミ合レテ見ルナリ

勅五言審象 卷之中

與彼不同我彼トナラ 不與彼同我内テ尺外

五 戎狄之與鄰鼎錯 中國之人弗與也

用孟嘗 君傳客與俱者下斫擊聖 相與偕出

曲 弗與共戴天樂相與共講習讀之

用昭 季公及與公思展與公鳥之臣申夜姑相其室

與ヨリハト訓スルモ同義ナリ 孰與詳于後

元 猶有令名與其及也聖 與其成周不如城之

及オヨビ 自我傳屈彼曰及

及ハ此ニ彼ヲ對シツケテ云 及ハ上ノ語主トナル 與ハ下ノ語主

自古及今古ラ主 自古至今今テラ主

信韓王 傳及至頹當城生子因名曰頹當及ト至トノ別ハ及ハ今ヤウノオ

元 公及邾儀父盟于蔑魯ト至ニス故 公與夫人姜氏遂

如齊姜氏ヲ讓ル為ニ姜氏 宜 凡師出與謀曰及與謀トモ魯ニテ

用復 乃刑白雉及與驢羊

之ソレ付テモニテ心ヲユカシテ云リ 之義見于前

タトハ鼓及鐘トイフトキハ及字ナリ 擗之鼓トイフ 時ハ之字ナリ 擗ハ鼓ニ付テアルモノナレバナリ

一 孝 皇父之二子死焉

考工作其鱗之而鱗有之

將 ト 見于前

北二人權將楊愔相埒

兼 ト 見于後

顧稱奉圭兼幣

暨 ト 泊同 各各竝立曰暨

暨ハ並ヒタル物ニテ品等ノタメ又処ニ用ユ

定 毋弟辰暨仲佗石彊出奔陳

昭春王正月暨齊平

前年冬齊侯伐北燕ノ文ヲ承テ齊ト燕ト平クシ魯ニ云クニ齊燕ニ主客タメヌナリ

覆列暨及化人之宮

越 ト 見于前

詔王之讐民百君子越友民

逮 ト 追同 迄 見于後

○相胥兩耦 竝竊犀比

相 アヒ 平声 扶而與俱之曰相

相ハアイテトリテヒキ合フテスル意ナリ

昭 爲五陣以相離

胥 アヒ 平声 固自爲四曰胥

胥ハモト足ト云字ニテ雙方ヲ持合セテ云ナリ

桓 齊侯衛侯正命于蒲

兩 リョウ 多シナカラ

四立作對曰兩

兩ハ立ナラヒテ物ヲ成スナリ

兩馬兩輪ノ兩字ニテ義ヲ見ルヘシ

兩心交定兩利若一兩為之職

耦 ユウ フツナカラ

雙偶以同之曰耦

耦ハフタツヨセテ一ヲスルナリ

九僖 送往事居耦俱無猜貞也

竝 ナラヒニ

儕然駢立曰竝

竝ハナラヒタツナリ

後漢獻帝紀 恭懷敬隱恭愍三皇后並非正嫡

竊 ヒソカニ 又作窃

人ヒソカニ下欲ス 畏顯有為於隱曰竊

竊ハ人ノ知ラヌ間ニスルヲナリ

竊惟 竊以

私 ヒソカニ 對公ニ稱

陰 ヒソカニ 陽之反

暗 ヒソカニ 隱昧没明之稱

密 ヒソカニ 比周無間之稱

潜 ヒソカニ 隱伏埋影之稱

微 ヒソカニ 眇小叵見之稱

私以下助字ニ非ス

遲 ココホヒ ヤウク其ココニナリタルヲ云

遲義見于前

傳 外戚 遲帝還趙王死

遲明 遲且 熱明

比 ヒ ココゴロ 去声

料其程限依附之曰比

比ハ其時頃ニツケテニ立意ナリ

論語比及二年可使足民也檀比及五世皆反葬於周

全比御而不入乃イコゴロ 屬コゴロ 並見于前

間コゴロ 義見于前 其アヒタニハル意ナリ封禪書間者比年登ル

○適迄了已 終竟卒遂 度其所之以位之日適ト

適イッソ井ニ 事同 度其所之以位之日適ト

適ハ見今ヨリ將來ヘカクテ云ナリ

唐蟋蟀在堂歲聿其莫適字韻文ノ 外ハ用ヒス

迄キツツ井ニ 訖同 其処ヲイタリツメタル 窮其所底至日迄

傳康居驕黠訖不肯拜使者了

了ウツ井ニ 事訖濟而瞭然曰了ト

了ハアキラカト訓レテサツハリ事ノスミテアル意ナリ

抱了不知大藥了

已ハツ井ニ 已義見于前

超欲因此已平諸國注已猶速也 不可ノ義ヨリ轉レテ

終イウツ井ニ 對始訖其所極盡日終

終ハ始ノ反ニテヒウノ所ガカヨウアリト云所ニ用ユルナリイツ

ニテモ始トイフモノヲ相手ニ持テ云ナリ

終今 終古 終有得 終字全体ニカル得ナリ 一事ヲサズ汎ク言ナリ 有終得ハ

一事ヲツイニ 終不迷 全体カ 迷ハズ 不終迷 今コノ路ガ ツイニミヌ

桓 六周人以諱事神名終將諱之 喪其使終瘞之亦不可知也

竟 ツ井ニ コトクク トウクト訣 域之盡其所畫曰竟

竟ハトウク外ノコトナラズトイフキミナリ 始中終ヲコメテ云

覆 遂北至藍田再戰秦兵竟敗

復俊幸 用傳 遂竟窳盡没入鄧通家 畢竟ヲ決スリ 究竟

卒 ツ井ニ 卽律切 ソハスト訣ス 紀其着落之末曰卒

卒ハ始中ラスケテヒイノ果ハカリラ云フ辞ナリ

一 遂敗鄧師於蒲騷卒盟而還

遂 ツ井ニ ソカズイト訣 閱甲涉乙有成曰遂

遂ハ此事ヨリヒテ彼事ヲ成シ遂ゲタル意ナリ 兩事ヲ合

セテ云所ニ用ニ 終ト竟トハ彼ニ屬シ向フニサフナリタルナリ 卒ト遂トハ我ニ屬スコトヲニテサフニタルナリ

隱 莊公寤生驚姜氏故名曰寤生遂惡之 名ヲテ寤生トイフヨリ ツ井ニ惡ムニナリタル

成 今叔父克遂有功于齊 遂ニ百衛將遂伐晉

離乃遂焉而逢殃

肆シキリニ見于前見于前

肆觀東后肆觀東后

○連頻仍旋 荐薦恣累

連シキリ

連ハ我ヨリヲヒツケテスルナリ

連ハ我ヨリヲヒツケテスルナリ

因連與漢戰

頻シキリ

頻ハ彼ヨリヒツケテスルナリ

頻ハ彼ヨリヒツケテスルナリ

頻為節將見邀用

仍シキリ

仍ハ以前ハ違ヒテ子処ニヤハリ以前ノ通りニ成テ出テスルナリ

仍ハ以前ハ違ヒテ子処ニヤハリ以前ノ通りニ成テ出テスルナリ

周晉仍無道而鮮卑

大仍執醜虜

旋シキリ追ヒツケル意ナリ

旋義見于前

後漢鄭旋為邊害

比シキリ見于前見于前

又比段三趙王

荐シキリ海同

稠重不可天闕曰荐

荐ハヲシカケク多クナリ

易象 水洊至習坎

洊雷震

不虞荐至

薦 セキ
キリニ

薦與荐同

大 雅 饑 饑 薦 臻

薦字韻文
外三見ハ

恣 シ
キリニ

ナルニテ誤 放縱無所制轄曰恣

恣ハナルニ隨意ニスルナリ

累 ライ
キリニ

屬屬相増曰累

累ハツ上ヘナリクシテユクナリ

切 セツ
キリニ

急 キウ
キリニ

急 キウ
キリニ

助語審象卷之中

急 キウ
キリニ

急 キウ
キリニ

